

第121回日本眼科学会総会

モーニングセミナー16

日時▶2017年4月8日(土) 7:45~8:45

会場▶第8会場(東京国際フォーラム ホールD1)

OCT-Angiographyの 読影と症例検討〈Part2〉 進化した活用法

座長のことば

今、最も注目される眼科診断機器の一つにOCT-Angiographyがあります。OCT-Angiographyは非侵襲的に眼底の血管像を観察でき、研究や臨床において様々な有用性が報告されています。OCT-Angiographyをはじめとした多数の画像Multimodal Imagingを組み合わせて、それぞれの所見を注意深く読影することで、新しい病気の診かたが生まれたり、診断・治療に役立つ情報が提供されることが期待されます。

今回のモーニングセミナーでは、OCT-Angiographyやマイクロペリメータを研究・臨床で使用されている鳥山 佑一先生(信州大学)、北 善幸先生(杏林大学)、石子 智士先生(旭川医科大学)の3名の先生方に、その活用方法をご講演いただく予定です。今後OCT-Angiographyの導入を予定されている、あるいは既にご使用されている先生方に、今話題のOCT-Angiographyを診療でどう生かすか、病態をどこまで解釈できるか、明日からの診療に役立つ最新情報をお届けします。

また、最後に会場の参加者を含めたディスカッションの時間を設けたいと考えていますので、多くの先生方のご来場をお待ちしています。

座長



Tomohiro Iida

飯田 知弘先生

東京女子医科大学眼科 教授

Multimodal imagingによる
網膜の形態・循環・機能の評価

緑内障に対する
MP-3およびRS-3000の有用性

網膜疾患における
マイクロペリメトリーの有用性

演者



Yuichi Toriyama

鳥山 佑一先生

信州大学医学部眼科学教室 助教

演者



Yoshiyuki Kita

北 善幸先生

杏林大学医学部眼科学教室 講師

演者



Satoshi Ishiko

石子 智士先生

旭川医科大学医工連携総研講座 特任教授